

日本橋川清掃活動（第26回） レポート

約50名の有志により26回目の日本橋川清掃を実施しました。

今回は、常盤小学校の三年生14名の皆さまに体験参加していただきました。

前日まで降っていた雨の影響で下水が流入し、汚染がひどく、上流で強い臭気を感じられました。また、ゴミの量も普段より多く見られました。

日時 2013年7月19日(金) 10:00~12:00

参加メンバー 主催：名橋「日本橋」保存会
日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
常盤橋フォーラム

- 名橋「日本橋」保存会
- 日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- 常盤橋フォーラム
- 常盤小学校
- 鹿島建設株式会社
- 清水建設株式会社
- みらい建設工業株式会社
- マンダリンオリエンタルホテル東京
- オフィスドゥ
- 日の丸自動車興業
- 株式会社 三越伊勢丹
- 三菱地所株式会社
- 三井不動産株式会社
- 三井共同建設コンサルタント株式会社

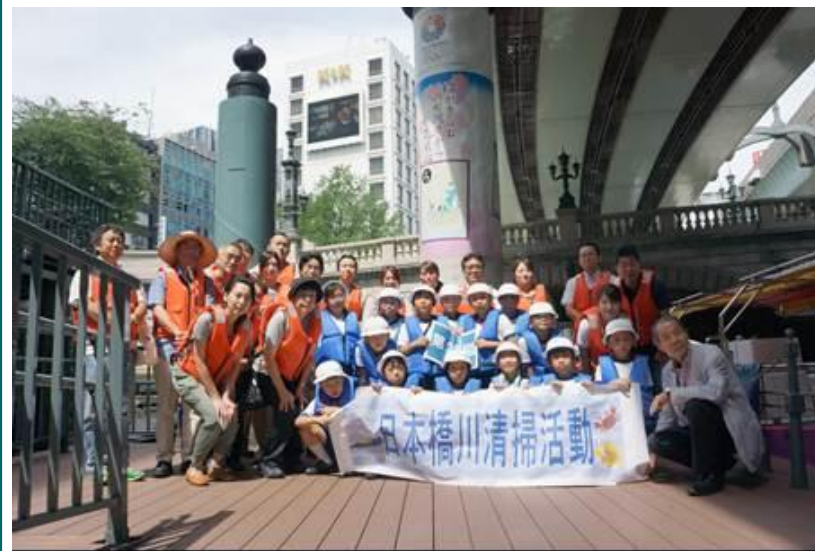
約50名の皆様
にご参加いただきました。

協力：舟宿「三浦屋」、「平井」（作業船提供）
東京都第一建設局
（河川清掃船によるゴミの回収作業）

【2013年の予定】

- ~~2月22日(金)~~ 済
- ~~4月26日(金)~~ 済
- ~~6月14日(金)~~ 雨天中止
- ~~7月19日(金)~~ 済
- 9月20日(金)
- 11月15日(金)

次回は、
9月20日(金)です。
次回もご参加、よろしく
お願いいたします。



【水質調査】

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 29℃、降水量 0mm
直近の降雨	7月17日 17時から19日 1時にかけて合計 13mm
潮位・流向	207cm → 257cm、上げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200以上	60	80	170
COD	mg/L	5未満	8	8	6
臭気	-	1以下	5	4	2
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.50	0.05	0.05
硝酸態窒素	mg/L	2未満	5.0	0.2	4.0
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.5	0.01	0.2
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	2.0	1.0	0.6



CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがまっている	汚れが進んでいる

臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

各項目の殆どが目標値を上回っていた。前日までの降雨によるものと考えられる。臭いは神田川との分流点である三崎橋付近で強烈な臭いを感じたものの、下流の豊海橋付近ではそれほど臭いは感じられなかった。

※水質調査結果は簡易試験（バックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常1~2mg/L前後）
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L以下）
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L未満、少し多い0.5mg/L以上）
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。

<ゴミの種類>

- | | | | |
|----------|----|--------|---|
| ・ペットボトル | 38 | ・その他紙類 | 3 |
| ・空き缶 | 31 | ・スプレー缶 | 1 |
| ・ビニール袋類 | 20 | ・ポリタンク | 1 |
| ・発泡スチロール | 14 | ・プランター | 1 |
| ・カップめん容器 | 11 | ・ボール | 1 |
| ・紙パック | 7 | ・木の枝、葉 | 多 |
| ・空き缶 | 5 | | |
| ・新聞 | 3 | | |
- ・ペットボトル、空き缶類が特に多く、人為的に捨てられたものが殆どであった。
 ・この日は、普段ゴミの量が多かった。

<確認された生物>

- ・サギ類の休憩が亀島川合流点の水門付近で確認された。
- ・カモメの飛翔が確認された。
- ・魚やネズミの死がいが多く見られた。

